



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電)千葉 2935・2936 番
(公)千葉 (22) 7207 番

92-3-10 No. 3553

清算事業団闘争重大局面 3・15総決起集会を総力で

かちこし定期委員会へ！

各支部全力結集を

日刊で既報のとおり、全面的に乗り出している三月末をメドとする敵政ののである。清算事業団闘争は、重府、J.R.による清算事業 大局面・正念場に直面し、団闘争解体・国労の連合 化攻撃が一挙に激化している。全組合員は、この緊迫国労中央の弱腰をついた情勢を直視し、不屈て路線転換し闘争終結に頑張りぬいている清算

事業団の仲間を守りぬき、五万人体制合理化粉碎、J.R.体制打倒の強固で広範な陣型を築かなければならない。三・一五集会の意義は決定的です。各支部は総力をあげ全力で結集されるよう訴える。

3月19日
二・二一スト総括と今後の仰い
第27回定期委員会
労働者福祉センター

三月十九日、動労千葉第二七回定期委員会が千葉県労働者福祉センターにおいて開催される。今委員会は、「J.R.鉄道部門五万人体制」の中心軸をなす、勤務制度改革、悪く動乗勤改善攻撃の本質を余すところなく暴きだした昨年の一・二二二六スト。その初年度である「九二・三ダイ改」阻止闘争として勝ちとられた、二・二一ストが切り拓いた地平を総括する場として、又、当面する取り組みで

ある、九二春闘勝利の大幅賃上げ獲得、定年まで安心して働ける労働条件の獲得に向け、そして現在最も緊迫した情勢下にある清算事業団闘争の勝利へ向けて闘う方針を確認する場として行われる。ときあたかも「J.R.体制」が次々と崩壊を開始し、分割・民営化の矛盾はとどまるところを知らないという絶好のチャンスが到来している。この機会を逃さず正確

に捉え、第二の「分割・民営化」攻撃にのりだしたJ.R.当局の攻撃を徹底的に粉碎しつくなければ、J.R.の労働者に生き残る術はない。その意味において、動労千葉の路線「反合・運転保安確立の闘いの真価が光り輝く時が来たと言える。

「反転攻勢へ！
全解雇者の原職奪還へ
第二七回定期委員会に
結集しよう！

諸悪の根源＝JR総連革マルの崩壊

3/7 四国労組も JR総連脱退

三月七日、JR四国労組の問題である。組がJR総連からの脱退を決定した。諸悪の根源「JR総連革マル解体・一掃はトキの声となつていく。昨年五月JR西日本労組の分裂からはじまった「分割・民営化」強行「J.R.総連の崩壊はもはや十万人を上回る首きりり手染め、強権的労務支配に率先加担し職場を労働監獄に陥し入れたJ.R.総連革マルに怒りの総反撃をうちおろそう。二年に入るやいなや四国労働者の敵・裏切者を断された東労組の瓦解は時じて許すな。

(朝日)
JR総連からの脱退
大会開き正式決定へ
7日、四国労組

本報記者からの取材によると、JR四国労組は、三月七日、JR総連からの脱退を正式決定した。この決定は、JR総連の崩壊を加速させる一歩と見られる。また、JR四国労組は、この決定を「労働者の権利を守るため」として歓迎している。

清算事業団闘争の 解体を断じて許すな